(第1面)

## 産業廃棄物処理計画書

2025年 6月10日

(あて先) 豊中市長

提出者

住 所 豊中市庄内宝町3丁目1番12号

氏 名 大路建設株式会社

代表取締役 大路 昌幸

電話番号 06-6332-1510

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大路建設株式会社 豊中市管轄内事業所
事業場の所在地	豊中市管轄区域内
計 画 期 間	2025年4月1日~2026年3月31日
当該事業場において現に行	fっている事業に関する事項
①事業の種類	06. 総合建設業
②事業の規模	970,383千円
③従 業 員 数	1 2 名
④産業廃棄物の一連 の処理の工程	別紙のとおり

(日本産業規格 A列4番)

産業	<b>達廃棄物の処理に係る管</b>	理体制に関する事項
	(管理体制図) 別紙(	のとおり
産業	<b>達廃棄物の排出の抑制</b> に	関する事項
		【前年度(2024 年度)実績】 別紙のとおり
		産業廃棄物の種類
		排 出 量 t t
		(これまでに実施した取組)
	①現状	アスファルト破片、コンクリート破片など分別を徹底し処理業者に
		委託し、再生砕石・再生合材として現場で再利用している。 その他の管理型混合廃棄物などは分別を行い、資源として売却
		できるもの(金属類・段ボール)は売却し、処理を委託している。
		【目標】 別紙のとおり
		産業廃棄物の種類
		排 出 量 t t
		(今後実施する予定の取組)
	②計画	排出された産業廃棄物はできる限り分別、再処理をし現場で 再利用をする。
		円利用をする。
産業	<b>英廃棄物の分別に関する</b>	
		(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場で排出されるアスファルト破片・コンクリート破片を分類し、
	①現状	処理業者に委託し、再生処理をしている。
		管理型混合廃棄物を金属類・段ボール・木くず等に分別し、 処理業者に委託し、再生できるものは再利用している。
		(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
		上記の内容をより一層徹底し、再生資源として活用できる量を
	②計画	増やしていく。

自身	っ行う産業廃棄物の再生	E利用に関する事項
		【前年度(  年度)実績】
		産業廃棄物の種類
	O.H.I.	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量
	①現状	(これまでに実施した取組)
		【目標】
		産業廃棄物の種類
	_	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量 t
	②計画	(今後実施する予定の取組)
<u> </u>		
自6	っ行う産業廃棄物の中間 「	1
		【前年度(年度)実績】
		産業廃棄物の種類
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量
	①現状	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量 t
		(これまでに実施した取組)
		【目標】
		産業廃棄物の種類
		自ら熱回収を行った
		産業廃棄物の量
	②計画	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量 t
		(今後実施する予定の取組)
1	Ī	1/

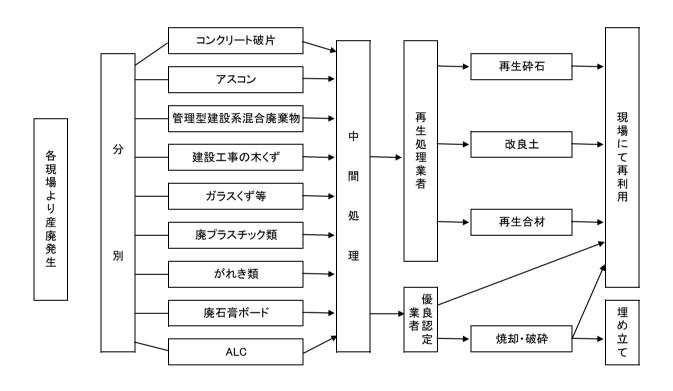
自身	行う産業廃棄物の埋	Z処分又は海洋投入処分に関する事項	
		【前年度 (年度) 実績】	$\overline{/}$
		産業廃棄物の種類	
	①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t
		(これまでに実施した取組)	
		【目標】	
		産業廃棄物の種類	
	②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t
	②計画	(今後実施する予定の取組)	
産業	美廃棄物の処理の委託! 「		
		【前年度(2024年度)実績】 別紙のとおり	
		産業廃棄物の種類	
		全 処 理 委 託 量 t	t
		優良認定処理業者 への処理委託量 t	t
		再生利用業者への 処理委託量 t	t
	①現状	認定熱回収業者 への処理委託量	t
		認定熱回収業者以 外 の熱回収を行う業 者	t
		(これまでに実施した取組) 産廃処理業者の選定にはこれまでの実績や現場からの距離等を 考慮し、契約を締結している。	

	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
②計画	応足然凹収来有以 外 の熱回収を行う業 者 への処理季託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 現在遂行中の取り組みを継続		
※事務処理欄			

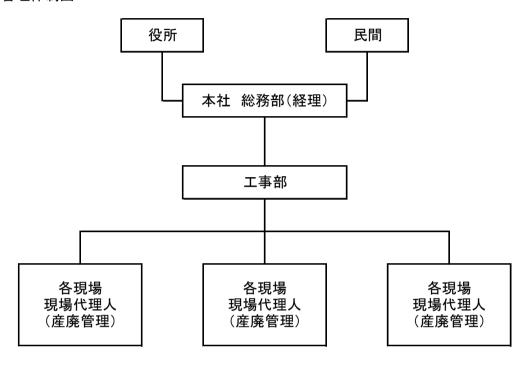
#### 備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入する こと。
- (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
  - 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、 自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量 と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組 を記入すること。
  - 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理 委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関 する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用 委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1 項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外 の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組 を記入すること。
  - 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
  - 7 ※欄は記入しないこと。

### 産業廃棄物 処理工程(一連の流れ)



# 管理体制図



部署	役 割
本社 総務部 (経理)	<ul> <li>・廃棄物の処分量の集計、現場から処理業者へ適正な処理が行われているかの確認</li> <li>・マニフェスト伝票の管理と保存</li> <li>・産業廃棄物の処分会社及び収集運搬会社との契約書の管理と保存</li> <li>・廃棄物の種類と排出量のチェック</li> <li>・廃棄物処分会社への代金の支払い</li> </ul>
工事部(各現場)	<ul> <li>・社員への廃棄物処理法・建設リサイクル法の教育及び廃棄物の適正処理の指導</li> <li>・廃棄物発生時の分別の徹底</li> <li>・処理委託業者選定・委託契約書の作成</li> <li>・マニフェスト伝票の発行及び管理</li> <li>・廃棄物の種類と排出量のチェック</li> </ul>

## 前年度[2024年度]実績

	8 出	*				
住 所	6 B	担当邮署	担当者名	電話器号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を伸出する事業場を総括的に管理する支店 等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括管理する支援等の名称	5的に 報告担当部署の名 称	報告担当者の氏名	報告担当都署の電 経費号	報告担当部署の FAX書号	報告担当部署の電 子メールアドレス
曼中市在内室町3丁目1番12号	大路建設株式会社			06-6332-1510		m-ahji#ahji-co- kk.co.jp

8	業廃棄物の種類	(1) 韓出量	286直接	高 3会己直接埋立	の 3		状 ※自ら中間処理	没 ⑦音ら中間処理	窓会ら中間処理	您会ら中間処理した	包直接及び自ら	( the (1)-2)-(3-(2)+(2)	3-9 =2+3+3+3+3+	1)				2+8	3+9
			再生利用した量	処分又は海洋投		熱回収を行った量	した後の残さ量	により減量した量	した後再生利用	自ら埋立処分叉は差	自己処理した後の	委託 先に、	上る区分				但被良然定処理業件	自ら再生利用	田ら石
3-k	4 8	(t)	(t)	入処分した量(t)	(t)	(t)	(t)	00	した量 (t)	洋投入処分した量()	処理委託量 (t)	位再生利用業者への 処理委託書(t)	②熱回収証定業者 への処理委託量(t)	信熱回収認定業者以外の 熱回収業者への処理委託号(c)	ひその他の中間処 理	8埋立処分委託量	への処理委託量(t)	を行った量(t)	投入
후Ⅱ □─K	<b>主業廃棄物の種類</b>	勇生した産業廃棄物 の種類ごとの量	①の量のうち、中間 処理をせず直接自ら 再生利用した量	①の量のうち、中間 処理をせず自ら埋立 処分又は海洋投入 処分した量	①の量のうち、自ら 中間処理した産業 廃棄物の自該中間 処理的の量	④の量のうち熱回収 を行った量	自ら中間処理を行っ た後の量	(4)の受から窓の量 を差し引いた量	窓の量のうち、自ら 利用し、又は他人に 売却した量	②の量のうち、自ら 埋立処分及び海洋 投入処分した量				(多の量のうち、医変熱回収施投設置者は 外の熱回収を行っている処理業者への情 却処理委託量	信の量のうち、委託 して破砕等の中間 処理した量(む~旧 を除く)	市の量のうち、直接 委託して埋立て最終処分した量	勿の量のうち、仮良 認定処理業者への 委託処理量	②の量と窓の量を 合計したもの(自動 計算)	3の 会計 計算
***	アスガラ	1 102									1 102								0
***	コンガラ	551									551	551							0
***	その他がれき	381									381	380					1		0
800	木くず	149						,			149	147							0
600	克プラスチック類	1						,			1 1 1	137							0
***	管理型建設系混 合廃棄物	123						,			123				123				0
	売石膏ボード	10									10				10				0
***	ガラス・陶器くず等	12						,			22				22		2		0
***	石綿含有産業廃 棄物	7						,			7				7		•		0
	流さい	302						,			302	302							0
								,											0
								,											0
								,											0
								,											0
																			0
											0								0
											0								0
											0								0
																			0
											0								0
	18:00																		
		2,660				0	0		0		2,660	2,482	0	0	173	0	6	-	0

## 今年度[2025年度]目標

	89	出者					
住 所	-6	25	担当邮署	担当者名	電話器号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店 等の住所	産業廃棄物を排 管理する支援等の	出する事業場を認搭的に か名称	報告担当部署の名 称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電 経費号	報告担当部署の FAX書号	報告担当部署の電 子メールアドレス
曼中市在内室町3丁目1番12号	大路建設株式会	tt			06-6332-1510		m-ahjillahji-co- kk.co.jp

8	素廃棄物の種類	①神出量	286直接	高 3自己直接埋立	の 3		状 ※自ら中間処理	⑦自ら中間処理	8自ら中間処理	③自ら中間処理した	包直接及び自ら	( (t)= (1)-(2)-(3)-(4)+(4)	8-9 = 2+3+3+3+3+	1)				2+8	3)+3
			再生利用した量	処分叉は海洋投		熱国収を行った量	した後の残さ量	により減量した量	した後再生利用		自己処理した後の	要 託 先 に 。					但使良肥定处理单	自ら再生利用	田ら石
3-K	4 15	(t)	(t)	入処分した量(t)	(t)	(t)	(t)	00	した量 (t)	洋投入処分した量(た	処理委託量 (t)	位再生利用業者への 処理委託書(t)	②熱回収証定業者 への処理委託量(t)	信熱回収認定業者以外の 熱回収業者への処理委託号(c)	ひその他の中間処 理	8埋立処分委託量	への処理委託量(t)	を行った量(t)	投入
후레 기	(果廃棄物の種類	身生した産業廃棄物 の種類ごとの量	①の量のうち、中間 処理をせず直接自ら 再生利用した量	①の量のうち、中間 処理をせず自ら埋立 処分又は海洋投入 処分した量	①の量のうち、自ら 中間処理した産業 廃棄物の自該中間 処理的の量	④の量のうち熱回収 を行った量	自ら中間処理を行っ た後の亜	(4)の受から窓の量 を差し引いた量	窓の量のうち、自ら 利用し、又は他人に 売却した量	②の量のうち、自ら 埋立処分及び海洋 投入処分した量				(多の量のうち、医変熱回収施投設置者は 外の熱回収を行っている処理業者への情 却処理委託量	信の量のうち、委託 して破砕等の中間 処理した量(む~旧 を除く)	市の量のうち、直接 委託して埋立て最終処分した量	勿の量のうち、仮良 認定処理業者への 委託処理量	②の量と窓の量を 合計したもの(自動 計算)	3の 会計 計算
***	アスガラ	1100									1 100								
***	コンガラ	500									500	500							
***	その他がれき	300									300	295					5		
800	たくず	150						,			150	140					10		
600	<b>売プラスチック</b> 類	1						,			100	140					1		
***	管理型建設系混 5廃棄物	100						,			100				100				
	た 石膏ボード	10									10				10				
***	ガラス・陶器くず等	10						,			20				20				
***	5総含有産業廃 薬物							,			5				-				
***		300						,			300	300							
								,											
								,											
								,											
								,											
											0								
											0								
											0								
Ī											0								
1	181																		
		2,496	0		0	0	0		0	0	2,496	2,335	0	0	146	0	21		)

(達1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。